

NPO 法人市川にオオムラサキを生息させる会

ごあいさつ ～できる事から一歩ずつ～



2022 年も師走をむかえ、気ぜわしい季節になってまいりました。会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと拝察いたします。

第 7 波から第 8 波に入ったと思われるコロナウイルスについては、まだまだ十分な警戒が必要ですが、一方で通常の生活も少しずつ再開

されてきているようです。

さて今年も、昨年同様市内幼稚園（2 園）・市内小学校（3 校）への幼虫の配布、市内小学校でのオオムラサキの授業、市川駅南図書館でのオオムラサキ観察会を無事終えることができました。ただ、今年は例年以上に幼虫の確保が難しく、大変苦労しましたが、新たな取り組みも開始した所です。今年 1 年の活動の様子をまとめてみましたので、ご一読いただければ幸いです。今後とも、多くの皆様のご理解ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

<オオムラサキの学習会>

6 月 9 日（金）～17 日（金）にかけて、市川市立中山小学校、若宮小学校、大柏小学校の 3 年生の子どもたちに、「オオムラサキ」の学習会を行いました。

今年は幼虫の数が不足気味で、市川市立自然博物館のご協力を頂きながら、グループに 1 頭の幼虫を用意するのがやっとでしたが、それでも、子どもたちは初めて見るオオムラサキの姿に大興奮気味で、あらためて「本物」に出会わせる事の大切さを痛感しました。



<オオムラサキ観察会>

6 月 23 日～26 日の 4 日間、市川駅南図書館入口にて「オオムラサキ観察会」を開催しました。図書館様より机をお借りして、成虫 2 頭、幼虫 3 頭、標本などを展示しました。4 日間合計約 1200 名の方に見て頂き、昨年以上の大盛況となりました。「名前は聞いた事がありますが、初めて見ました。」「きれいなチョウですね。」等の声を頂戴しました。

一人でも多くの方に興味を持って頂ければと思っています。



—今年の活動を振り返って—

オオムラサキの飼育に大苦戦！



今年度新たな取組みとして、中山小学校のうさぎ小屋をお借りして、オオムラサキの飼育舎とする活動を始めました。

3 月にはうさぎ小屋に防鳥シート取り付け、5 月には前理事長の村井さんの庭から高さ 2m ほどのエノキを移植しました。

その後、飼育用のエノキの鉢植え 12 個設置し、一つにつき約 10 頭のオオムラサキの幼虫をとまらせて、洗たくネットでカバーをしました。

【アリ対策】

このネットはアリ対策のためのもので、実は、この時期の幼虫の一番の天敵はアリやくモなのです。これ以外には、鉢植えの受け皿として大きめの鉢カバーに水をはるなどしました。

しかしながら、この方法でも 1 か月後には、幼虫の数は約 5 分の 1 まで激減してしまいました。

【幼虫激減！自宅での飼育へ】

そのため、5 月下旬には自宅での飼育に切り替えました。自宅では、全滅を避けるために 2 カ所に分けて飼育していましたが、今年は幼虫の成長が遅く、また、次々に行方不明になってしまったり、死んでしまったりという事態が続きました。

【幼虫の確保に必死！】

6 月になって、小学校でのオオムラサキの学習と観察会が近づいてきましたが、相変わらず幼虫の減少傾向は続き、とうとう 12～13 頭という状況に！このままでは、授業も観察会も中止せざるを得ないという事で、越冬幼虫を分けていただいている方に SOS を送って、何頭か送っていただきました。また、事前に飼育をお願いしていた市川市自然博物館からも数頭借用する事で、何とか授業と観察会を乗り切ることができました。

【市川育ちのオオムラサキの羽化を目指して】

今年は、今までにないような事態が続き、特に幼虫の羽化までに大変苦労いたしました。この反省から、現在は茂原で今年生まれた幼虫をいただき、自宅で飼育を行っています。11 月下旬あたりから幼虫は、越冬幼虫として落ち葉の裏などに潜んで、じっと春を来るのを待つのです。なんとか来春には、市川育ちの幼虫たちが羽化していくことを期待しています。



「市川にオオムラサキを生息させる会」について

私たちは、絶滅状態の国蝶オオムラサキの飼育活動を通して、自然環境改善と保全のための啓発を目的としたボランティア集団です。私たちは、市川市立自然博物館、市川市内の小学校ならびに幼稚園の協力を得て、子どもたちがオオムラサキの飼育活動を通して、環境改善と保全の必要性に気付いていけるよう取り組んでいます。私たちの活動にご賛同頂き、活動面・資金面で支えて頂ける方を募集しています。

ただし、2 年以上会費未納の場合は、やむを得ず退会とさせていただきます。

会員 1,000 円/年会費
 支援会費（任意） 1,000 円（一口）

<会員特典>

○年 2 回発行する「オオムラサキ通信」を送付させていただきます。

<申し込み方法>

○「参加申込書」を裏面または下記 URL からダウンロードして FAX にてお申し込み下さい。

理事長：川添 茂
 市川市宮久保 3-3-23
 090-7189-0188



＜新規会員申込書＞

申し込み日 年 月 日

「市川にオオムラサキを生息させる会」の目的に賛同し、会員・支援会員として申し込みます。

お名前	ふりがな
住所	〒 ー
電話番号	()
メールアドレス	

*参加申込書に必要事項をご記入の上、下記あてにFAXして下さい。

折り返し、払込取扱票（ゆうちょ銀行）を送付させていただきます。

FAX番号 047-371-5172

川添 茂